



寝たばこは絶対にやめる。

消すまでは 出ない行かない 離れない

3つの習慣



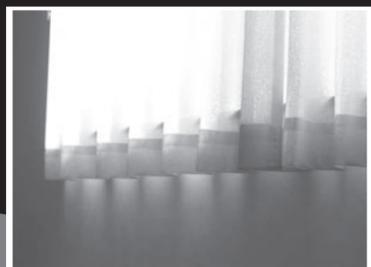
ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する。



ガスこんろなどのそばを離れるときは必ず火を消す。



逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。



寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。

4つの対策



火災を小さいうちに消すために、住宅用火災警報器などを設置する。



お年寄りや身体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制をつくる。

春の全国火災予防運動
3月1日から7日までの1週間、「消すまでは 出ない 行かない 離れない」をスローガンに、春の全国火災予防運動が実施されます。火災から大切な「いのち」を守るため、3つの習慣と4つの対策、合計7つのポイントを紹介します。

消火器の使用



1. 黄色の安全ピンを引き抜く。



2. ホースを外し、ホースの先端を持って火元に向ける。



※ホースの途中を持つと、的確に放射できない恐れがあります。

3. レバーを強く握って放射。火の根本をねらいます。

乾燥する時期 火災は予防できます!

本町での火災発生件数

		平成22年度	平成23年度	平成24年度
建物火災	件数(件)	4	3	1
	死傷者(人)	1	0	0
林野火災	件数(件)	0	0	0
	死傷者(人)	0	0	0
その他火災	件数(件)	1	1	1
	死傷者(人)	0	0	0
合計	件数(件)	5	4	2
	死傷者(人)	1	0	0

平成25年2月21日現在の数値データです。「その他火災」の中には、ほやなどの小さな火災も含まれます。

冬 場などの寒い時期は、乾燥する日が続きます。空気が乾燥すると起こりやすいのが火災です。本町での建物火災の発生件数は、平成22年度に4件、平成23年度には3件、今年度は1件となっています。残念ながら、このうちの1件でひとつの尊い命が失われる結果となりました。この建物火災の中にはストーブが出火原因のものもあり、ストーブなどを使用する際には注意して取り扱いなどが必要となります。火災は予防することができます。個々人の意識で火災の発生を未然に防ぎましょう。